

市島地域市立小学校 統合準備委員会だより

令和4年11月21日 Vol. 7

発行：市島地域市立小学校統合準備委員会
(事務局：丹波市教育委員会 教育総務課)
TEL 70-0810 / FAX 70-0814

10月25日(火)にライフピアいちじまで第8回市島地域市立小学校統合準備委員会が開催されました。第8回統合準備委員会では、各地域部会からの報告と1校統合に関する議論が行われました。

◆地域部会からの承認事項・報告事項

【竹田・前山地域部会】

〈承認事項〉

①統合後のアフタースクールの在り方について

⇒地域部会からの提案のとおり、統合後のアフタースクールは「竹田アフタースクール」で実施することが承認されました。

②「校名」の選考方法について

⇒校名の選考方法については、地域部会提案の選考要領(案)のとおり実施することで承認されました。

〈報告事項〉

①統合後の通学支援について

⇒前回の統合準備委員会で再度部会で検討することとなっていた統合後の通学支援について、部会で説明のあった路線バスの運行案や部会で寄せられた各委員の意見について報告がありました。なお、10/15(土)10/16(日)には路線バス試乗会が行われ、11/5(土)には前山地域で保護者を対象とした路線バスの説明会が開催されました。

【吉見・鴨庄・三輪地域部会】

〈報告事項〉

①三輪小学校の統合時期について

⇒前回の統合準備委員会で事務局が検討することとしていた、2校統合を進める場合に実施が可能となる吉見小学校の施設改修について報告がありました。

委員からは、全く空き教室がない校舎では統合後の学校運営に支障が生じる可能性があることや、吉見小学校の敷地が狭く、増築の方法次第では駐車場や登下校で児童が通るスペースがなくなる恐れがあることなどから、スピードだけを意識するのではなく十分な時間をかけて改修方法を検討する必要があるという意見がありました。

◆1校統合について

1校統合について、これまでの各部会での協議結果から、統合準備委員会の方向性としては、

「一時的に休止」とすることが決まりました。

ただし、1校統合の協議を再開する条件については、竹田・前山地域部会では「複式学級」を基準とする意見があった一方、吉見・鴨庄・三輪地域部会では、複式学級が見込まれるのは相当先になり、その間で教育を取り巻く環境も大きく変わる可能性もあるため、「複式学級」という表現にこだわる必要はないのではないかという意見もあり、地域部会間で認識の違いが見られていました。

今後は2校統合の協議を中心に進めていきますが、**1校統合の協議は統合準備委員会で今後委員から発議があった場合に再度検討を行うことで決定しました。**

資料や会議録等の詳しい内容は教育委員会のHPをご覧ください。市島支所でも閲覧できます。

(<https://www.city.tamba.lg.jp/site/kyouiku/>)

次回の委員会日程

日程：12月19日(月)19時30分から

場所：ライフピアいちじま



QRコードはこちら！

